

東部教育事務所社教便り『社窓』



NO. 26

(平成26年5月)

「 高齢社会を迎えて 」

安芸市矢ノ丸1-4-36 東部教育事務所

TEL: 0887-34-3591 (百々)

FAX: 0887-34-3592 (前田)

E-mail: 310304@ken.pref.kochi.lg.jp

若葉の鮮やかな季節、安芸郡市連合婦人会総会及び研修会が、5月16日(金)に「安芸市女性の家」にて開催されました。安芸郡市連合婦人会は、安芸郡市各婦人会の連絡連携を図るとともに、社会の変化に対応できる婦人会活動の推進と婦人の地位向上を図ることを基本方針として日々活動しています。今年度最初の会も、昨年同様多数の会員が参加しました。

午前中は、開会行事に引き続き総会が行われ、平成25年度事業・決算・監査報告の承認と、平成26年度事業案と予算案が承認されました。

< 開 会 行 事 ・ 総 会 の 様 子 >



その後、今年度担当地区である安芸市のみなさんによる楽しいレクリエーションが行われました。安芸市にちなんだ踊りや体操で元気に体を動かした後、安芸市出身の弘田龍太郎さん作曲の童謡「雀の学校」・「鯉のぼり」・「靴が鳴る」等を歌って、楽しいひとときを過ごしました。(みなさん童心に返って懐かしそうに歌っていたのが印象的でした)

< レ ク リ エ ー シ ョ ン の 様 子 (体操・合唱など) >



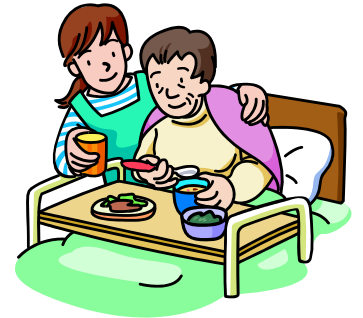
午後からは、「高齢者虐待について考える」と題して、安芸市企画調整課課長補佐の大野崇さんの講演が行われました。講演では、まず「誰でも歳をとる」という認識の大切さ、「高齢者虐待」の定義、「高齢者虐待の現状」などについての話がありました。虐待とは身体的な暴力だけではないこと、高齢者防止法ができた背景、高知県における高齢者虐待の具体的な例など、少し会場の雰囲気重苦しくなりかねない内容を、ユーモアたっぷりに楽しく・分かりやすく説明していただきました。



個人的（筆者）には、「高齢者虐待は、される側だけでなく、する側も守ってあげなくてはならない」という言葉が心に残りました。

後半は、「もしあなたの家のお隣さんで虐待と思われる事態が起こったら」という例をあげ、グループ協議を行いました。みなさん時間を忘れて、熱心に話し合っていました。当然、グループによって意見は違いますが、共通していたことは、「日頃のつきあいが大事」「近所への声かけを常に心がける」ということでした。

講演の終わりに、高齢者虐待を早期発見・防止するためには、「支えの必要な高齢者に手をさしのべること」「お互いさまで関わり、（虐待を）見過ごさないこと」が第一歩であるというご示唆もいただき、改めて地域で見守るという意識の大切さを感じました。講演後のアンケートでも、「孤立する家庭をつくらない・仲間をつくる、それが婦人会」との力強い意見がありました。



高齢社会を迎えた現代社会において、婦人会を含めた社会教育団体の存在や、人々と地域の関わりの重要性を改めて感じた1日でした。

<参加者からの声>



普段あまり考えていなかった高齢者虐待について、自分自身に置き換えて考えさせられました。とてもよい勉強をさせてもらいました。

地域の中で認知症を理解し、見守りができる状態づくり・研修会の開催等を行政に要請していきたい。



勇気をもってかかわる、見過ごさない、認知症に理解をもって世話をする。介護をする者のつらさもよく分かりました。